



# News Letter

国際農業機械化研究会

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 新農林社内 電話 03-3291-5718・3674

INTERNATIONAL FARM MECHANIZATION RESEARCH SERVICE

c/o SHINNORIN-SHA, 1-12-3 KANDA NISHIKI-CHO, CHIYODA-KU, TOKYO, ZIP101-0054 JAPAN., TEL. 03-3291-5718・3674

News Letter 通巻 500号

2016.11.10

発行責任者

岸田義典

## 目次

# 2016

- カンボジア農業機械化に関する一考察  
(一社)日本農業機械化協会  
専務理事 氣多 正氏 .....2
- EVENTS CALENDER.....37

# Vol. 10

# カンボジア農業機械化に関する一考察

(一社)日本農業機械化協会  
専務理事  
氣多 正氏

講師は、研修講師等として最近、複数回に渡りカンボジアに赴いたが、その経験から同国の農業機械化の発展段階及び今後の方向性等について考察する。以下は、配布資料である。



## カンボジア農業機械化に関する一考察

平成28年10月27日

一般社団法人日本農業機械化協会  
専務理事 氣多 正

## カンボジア出張経験

平成27年7月 全国農業協同組合中央会主催 研修講師:プノンペン

平成28年2月 日本水土総合研究所実施 セミナー講師及び現地調査  
:プノンペン、バットバン現地

平成28年7月 全国農業協同組合中央会主催 研修講師:プノンペン

2

## 全国農業協同組合中央会 CBプロジェクト (アセアン諸国の農業分野における能力開発プロジェクト)

○農林水産省がアセアンとのEPA(経済連携協定)の一環として、農業・農村生活改善・発展に寄与することを目的に、フィリピン、カンボジア、ベトナム、マレーシア、ミャンマー等で実施。全中がアセアンから実施を受託。

○カンボジアでは「農業分野における機械化・コメについて(H27)」「農業分野における機械化(H28)」をテーマとして、座学と実技の研修会をそれぞれ3日間実施。受講者は同国の農業改良普及員に相当する者を中心に一部民間等を含め30名程度。

## 日本水土総合研究所 農業インフラ海外促進展開調査

○農林水産省の委託により、同研究所がカンボジア、ミャンマーにおいてモデル的に水田の灌漑・基盤整備を行い、営農まで含めて機械化水稲作の実証を行っているもの。

○カンボジアではバットバン州コンピパイ地区にモデルサイトを設置し、受益農家約100戸、受益面積約80ha。本年2月時点では概ね工事が完了し、灌漑稲作が開始されている。

3